



2017年12月

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

「責任ある投資家」としての取り組みについて

責任ある投資家

責任ある投資家

お客様の投資をお手伝いすることや、私達の社会に多大な影響を及ぼす企業への投資を行うことは、大きな責任を伴います。当グループ（「当グループ」とは、BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が所属するBNPパリバ・アセットマネジメント・グループを指します。以下同じ。）が常に責任を最も重視して活動するのはそのためです。

どうあるべきか、何をすべきか: 潜在リターンと責任の調和

当グループでは、企業の社会的責任（CSR）とはお客様の期待リターンと、変化する世界における社会問題、環境問題との調和を図ることだと考えています。

主に次の2つの点を重視したアプローチを採用

何をすべきか: 社会に役立つ投資ソリューションの設計

環境、社会、ガバナンス（ESG）を組み入れた投資の選定基準を用いることで、伝統的な財務分析では捕捉困難な非財務情報の活用によって、潜在成長力の高い投資先を選定し、過度にリスクが高い投資先を回避することが可能です。

お客様の責任のある投資を促進するため、株式、債券、短期金融市場、プロテクション運用*およびインデックス型、バランス型など、幅広い分野で社会的責任投資（SRI）にフォーカスした戦略を提供しています。

*「プロテクション」とは、ポートフォリオ・インシュアランス戦略等を活用したダウンサイド・リスクマネジメントをいい、投資元本の保証を意味するものではありません。

どうあるべきか: あらゆる点で模範となる

当グループは優れたCSR活動を実践している企業を投資対象としています。したがって私達自身があらゆる点で模範的な行動を取ることが極めて重要だと考えています。それはすなわち、環境への影響を最小限に抑え、地域社会と強い絆を築き、働く人たちのニーズに配慮することです。最高水準のインテグリティ（誠実さ）をもって経営に臨まない限り、お客様や取引先企業から信頼を得ることはできません。



資産運用会社としての当グループの義務は、お客様の資産を守り、そして成長させることです。このため、すべての投資先企業に最低限の ESG 基準を適用しています。

CSR 手順の継続的な改善

当グループの CSR 活動は、国連がサポートする [責任投資原則](#)（当グループは 2006 年に署名）と当グループの親会社である [BNP パリバの企業責任憲章](#)、そして責任ある改善へのコミットメントに基づいて行われています。

その取り組みは現状にとどまることはなく、常に改善を追求し続けています。そのために、当グループはあらゆる CSR 活動を統括する専任の CSR 委員会を設置しています。

責任ある資産運用会社

当グループの経済的責任

世界有数の資産運用会社として、BNP パリバ・アセットマネジメントはビジネスのあらゆる側面において責任ある投資家であるよう心掛けています。

当グループが投資判断や株主としての行動に際して環境、社会、ガバナンス（ESG）要因を考慮するよう取り組むのは、自らの行動だけでなく投資先企業の責任ある行動を信じているからであり、また、当グループにはお客様の利益が長期的に見て最大になるよう行動する義務があるからです。

このポリシーは BNP パリバ・アセットマネジメントが堅持する [国連責任投資原則 \(PRI\)](#) および [BNP パリバ・グループの企業の社会的責任 \(CSR\) ポリシー](#) と一致しています。

お客様の投資目的の達成と利益の保護をサポート

環境、社会、ガバナンス（ESG）の問題は、投資先企業の価値や評判に影響を及ぼす可能性があります。そのため当グループは、受託者責任の観点から、お客様の投資目的の達成や利益の保護を鑑み、ESG 基準を投資判断に組み込むように取り組んでいます。

発行体企業に関する当グループの ESG 基準は [国連グローバル・コンパクト](#) の 10 原則に基づいています。この共通の枠組みは世界中で認められており、人権、労働基準、環境スチュワードシップ、腐敗防止の各分野の国際協定に基づき、あらゆる産業セクターに適用されています。

また国連グローバル・コンパクトの原則を補完するため、物議を醸すセクターや商品に関しては、国際協定や規制、BNP パリバ・グループの CSR ポリシー、各業界の自主基



準に基づいて、投資判断基準を設けています。各セクターに、BNP パリバ・アセット マネジメントの投資先企業として必須の要件があり、それらに基づきさらなる分析や企業との対話を行っています。

株主としてのコミットメント

株主総会での議決権行使は責任ある投資家として必要不可欠な要素であり、お客様に代わって投資先企業と対話をするための重要な手段の1つです。

当グループは議決権の行使を通じて、保有株式の長期的価値を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスのベスト・プラクティス（最高の慣行）、社会的責任、環境スチュワードシップの育成を目指しています。

環境、社会、ガバナンス慣行の促進と開発

当グループはサステナビリティ（持続可能性）の促進や共通の慣行の改善を共同で進めるために、責任投資に熱心に取り組むさまざまな団体組織と緊密に連携しています。下記の組織はその一部です。

[PRI](#)（国連がサポートする責任投資原則）

[IIGCC](#)（気候変動に関する機関投資家グループ）

[AFG](#)（フランス資産運用協会）

[EFAMA](#)（欧州投信・投資顧問業協会）

[FIR](#)（責任ある投資フォーラム —— 持続可能かつ責任ある投資を推進するためのフランスの組織）

[EUROSIF](#)（欧州で持続可能かつ責任ある投資を推進する組織）

[UNEP FI](#)（国連環境計画・金融イニシアティブ）

[EUROPEAN COMMISSION EEFIG](#)（欧州委員会がエネルギー効率推進のために金融機関や産業界と連携して設立したグループ）

[ICGN](#)（国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク）

環境・社会・ガバナンス（ESG）ポリシー

投資判断に際して環境、社会、ガバナンス（ESG）要因を考慮するのは当グループの責任投資へのアプローチの必要不可欠な要素です。

ESG 基準を当グループの投資に導入

BNP パリバ・アセットマネジメントは、企業への投資に際して[国連グローバル・コンパクト](#)の10原則に基づくESG基準を採用しています。この枠組みは世界中で認めら



れており、人権、労働基準、環境スチュワードシップ、腐敗防止の各分野の国際協定に基づいて、あらゆる産業セクターに適用されています。

またこれと並行して、物議を醸すセクターや商品に関する特定の **ESG** 要件の開発を続けています。企業が順守すべき最低限の **ESG** 要件を規定するためにセクターごとのポリシーを導入しています。これらは各セクターのベスト・プラクティスおよび国際的な基準や規制に準拠しています。これらのポリシーを順守していない企業は当グループのポートフォリオには不適格であり、除外リストに追加されます。

当グループは **ESG** 基準を投資プロセスに組み入れることで、お客様が長期的に資産を成長させ、環境、社会、ガバナンス慣行が不適切な企業への投資に伴う風評リスク、財務リスク、オペレーショナル・リスクを回避する手助けをいたします。同時に、当グループ自身も責任ある投資家として持続可能な発展に寄与することができます。

株主として議決権を行使

株主総会での議決権行使は、**BNP** パリバ・アセットマネジメントが、お客様に代わって投資した企業と対話するための重要な手段です。

当グループは議決権行使に際して常に **ESG** 基準を考慮します。それはなぜでしょうか。そうした責任あるアプローチの採用によって、社会や環境に与えるプラスの影響を最大化するだけでなく、投資先企業が長期的に力強い投資リターンを達成する可能性も高まるからです。

2016年に当グループは 1,504社の株主総会で議決権を行使しました。

力強いエンゲージメント

エンゲージメントは当グループの責任投資ポリシーの重要な要素です。

当グループは投資先に対するエンゲージメント活動を定期的に行うことで、保有資産の長期的なパフォーマンスの改善を目指しています。継続的な対話を通じて、投資先企業による優れたガバナンス慣行や社会的責任慣行を促進しています。



持続可能かつ責任のある投資（SRI）

多岐にわたる SRI（持続可能かつ責任のある投資）運用

BNP パリバ・アセットマネジメントは、リターンの向上と環境や社会へのプラスの影響の双方を追求するお客さまのニーズを満たすため、さまざまな種類の SRI 運用戦略を提供しています。

SRI とは？

SRI とは、事業活動のセクターに関わりなく、持続可能な発展に寄与する企業や公的機関に資金を提供することによって、投資リターンと社会や環境への影響の調和を目指す投資です。そうした団体組織の行動やガバナンスに影響を与えることによって、SRI は責任ある経済を促進します。

出所: AFG/FIR

幅広い商品構成でお客さまのニーズに対応

当グループは、SRI に関する 15 年以上の経験に基づき、株式、債券、バランス型、オルタナティブ投資戦略など、さまざまな種類の SRI 投資ソリューションを提供しています。

SRI に対する 2 つのアプローチ

当グループの SRI ポートフォリオは次の戦略を採用しています。

- ベスト・イン・クラス戦略では、各セクターにおいて環境、社会、ガバナンスの評価が同業他社に比べて最も高い企業に投資します。
- テーマ型戦略では、高いリターンが期待できると当グループが考える特定の環境および社会テーマに関連する商品やサービスを提供する企業に投資します。例えば次のようなテーマが含まれます。
 - 環境保護（再生可能エネルギー、エネルギー節約に役立つ商品、水管理、汚染防止、梱包材の再利用など）
 - 社会福祉（ヘルスケアへのアクセス、貧困の緩和、持続可能な経済発展、人口の高齢化、マイクロファイナンスなど）
- ベスト・イン・クラス戦略とテーマ型戦略の組み合わせ

当グループの ESG シニア・アナリスト・チームは事業セクター別に組織されており、これらのチームがベスト・イン・クラス SRI ポートフォリオを構築するために、企業



の環境、社会、ガバナンス（ESG）慣行を評価し、ベスト・プラクティスを実践している企業を選択します。

広く認められた SRI に関する専門知識

BNP パリバ・アセットマネジメントの SRI 運用戦略は、SRI 関連の独立機関から継続して高い評価を受けています。

経験豊富な SRI 専門家チーム

当グループの SRI 運用戦略の開発・運用には 50 人以上の投資のプロフェッショナルが携わっています。15 年以上に及ぶ経験に基づく SRI に関する専門知識は、さまざまな種類の資産クラスの運用に適用されています。

お客様からお預かりした 250 億ユーロの資産¹は、SRI 戦略によって運用されています。

1：出所 BNP パリバ・アセットマネジメント、2016 年 12 月 31 日現在

インパクト投資：お客様のニーズに寄り添いながら社会的価値を創造

インパクト投資は、自らの投資が社会や環境にどの程度影響を与えているのかを把握したいというお客様の間で必須の戦略となりつつあります。当グループはフランスで培った経験を基にこの分野の運用ノウハウ開発に積極的に取り組んでいます。当グループは 12 年間にわたり、ソーシャル・インクルージョン、雇用、公共住宅や多世代向け住宅、マイクロ・ファイナンス、環境などの分野でソーシャル・ビジネスに取り組む非上場企業にすべてまたは一部を投資するため、個人投資家および機関投資家向けにさまざまな種類のインパクト投資戦略を開発してきました。2016 年 12 月 31 日時点で、ソーシャル・ビジネスに従事する企業 22 社に合計 6,800 億ユーロを投資しています。加えて、世界中に投資するマイクロ・ファイナンス・ファンドに合計 900 万ユーロを投資しています²。

2：出所 BNP パリバ・アセットマネジメント、2016 年 12 月 31 日現在

また、企業の社会的使命ならびに財務パフォーマンスを評価し、有望な投資対象を発掘するため、専門のアナリスト・チームを立ち上げました。

当グループの付加価値:

積極的な宣伝活動:インパクト投資へのお客様や投資対象企業の認知度向上

ソーシャル・インパクト分析: 社会的使命の妥当性の立証、創出されたソーシャル・インパクトの評価

財務分析: ビジネス・モデルの実行可能性を評価

長期的パートナーシップ: ソーシャル・ビジネスの規模拡大をサポート



責任ある企業としての行動

責任ある企業としての行動

BNP パリバ・アセットマネジメントは、社会や環境に対する責任、企業市民としての責任をいかに真剣に受け止めているかを示すことで、模範になりたいと考えています。

社会的責任

当グループの社会的責任に対する姿勢は社員への対応にも反映されています。全社員に優れた研修の機会、社内での異動や昇進の機会を提供するとともに、グループ全体を通じて、良好な職場環境、ならびにあらゆる面におけるダイバーシティの促進を目指しています。

環境上の責任

当グループの事業が環境、特に気候変動に与える影響を最小限に抑えることを目指しています。フランスでは、オペレーショナル・コントロールのプロセスにおいて全事業活動による温室効果ガス排出量を見直し、排出量削減のためのアクション・プランを導入しました。

またカーボン・フットプリントを削減するために、社内の紙消費量を減らし、ビデオ会議の利用で社員の出張を最小限に抑えています。

市民としての責任

当グループは企業が社会の一員として責任ある行動を取ることは非常に重要だと考えており、事業活動ならびに社員を通じて地域社会と環境活動を支援しています。

例えばフランスでは、雇用、与信、社会住宅や社会的流動性へのアクセス提供などによって、人々の生活向上を支える企業に資金を提供することで、社会的連帯経済の発展に寄与しています。フランス以外では、銀行から借入れができない起業家やスモール・ビジネスの資金調達を助けるマイクロ・ファイナンス・イニシアティブを支援することで、金融サービスから弱者が排除されないようサポートを続けています。

当グループは、教育、健康、文化、社会的責任の分野に携わる団体組織を強力に支援しています。そのため例えば、エコロジーの重要性の認知向上に努める[グッドプラネット基金](#)、世界中で活動する人道組織 [Coup de Pouce Humanitaire](#)、起業を促すことで貧困撲滅を目指す非政府組織 [Agrisud](#) などと連携しながら活動しています。

当グループは、社員が自分の時間や労力の一部を非営利組織の活動のために定期的に費やすことを推奨しており、そうした活動を通じて社員と地域社会との絆が強まると考えています。

以上